

資料1

1. 調査・対策の進捗状況 及び今後の計画・方針について

平成22年3月29日
第11回環境専門委員会

土壌地下水汚染 調査・対策 進捗状況 及び 計画

			現在までの状況	H22年 上期	H22年 下期	H23年～	備考
全域・共通	全域調査		H20年度に終了				
	対策	表層	裸地舗装(雨水浸透防止、直接摂取リスク低減)	約1410m2実施済み	●-----● 約1400m2		裸地面積 約4.7万m2(除く工場緑地)
BSエリア	詳細・追加調査		エリア全体としては終了	●-----● 個別項目での調査			
	対策	宙水	揚水(緊急対策)	2箇所で開催中 約10L/dドラム保管	●-----●		トレンチ、ウエルポイント揚水の水処理設備稼働まで実施
			揚水 水処理プラント計画	合4 トレンチ、合5 ウエルポイントを設置	●-----● 水処理プラント設計・届出・建設	●-----● 稼働	揚水状況(周辺井戸モニタリング等)の結果によっては、追加のトレンチ、ウエルポイントを検討
		第1帯水層	(汚染対策)	地下水流向 調査中		●-----● 対策検討 試験対策・対策実施	技術公募も検討する
		土壌	(汚染対策)			●-----● 対策検討 試験対策・対策実施	技術公募も検討する
北西域	詳細・追加調査		エリア全体としては終了	●-----● 個別項目での調査			
	対策	表層	ファイトレメディエーション(モエジマシダ)	1年目試験終了	●-----● 2年目の試験を実施		H22年の結果をもって、継続しての適用を判断する
		第ゼロ帯水層	揚水	集水管設置 計画を策定 事前調査ボーリング実施中	●-----● 集水管設置、土壌不溶化埋戻し		電解プラント付近 道路で計画
		第1帯水層	揚水 水処理プラント計画	揚水箇所、方法等の計画を策定中	●-----● 試験揚水実施、井戸設置 井戸地点・本数決定 ●-----● 水処理プラント設計・届出・建設	●-----● 稼働	H23年以降の対策については、揚水状況(周辺井戸モニタリング等)および浄化技術コンペ パイロット試験の結果 等を解析して 策定する。
		土壌	地下水への影響拡大防止	公募案件とすることを計画	●-----● 浄化技術コンペ(パイロット区画)で実施		
IKK～ 旧沈殿池 (南東域)	詳細・追加調査		フェーズ1実施	●-----● 土壌ガス調査、ボーリング調査等実施			
	対策	第1帯水層	(汚染対策)		●-----● 対策検討 試験対策・対策実施		
1～3号 旧沈殿池 (北東域)	詳細・追加調査		未実施		●-----● ボーリング等調査実施		
	対策	埋土	(汚染対策)			●-----● 対策検討、実施	

今後の計画・方針について

•基本姿勢

- 法的要求事項は確実にクリアする。
 - 工場敷地外への汚染拡大を防ぐ対策を実施する。
 - 工場敷地内において、従業員等の健康リスク低減を図る。
- 以上の基本姿勢のもと、優先順位を見極めて、問題の解決に向けて順次
粛々と適切な対応をしていく。
- 土壌地下水汚染による環境リスクに対しては、安心安全確保の見地から
プライオリティに従って具体的な修復対策を開始する。また必要な事項は
調査を継続する。

•当面の具体的対応策(案)

- 雨水浸透・飛散防止対策
裸地舗装による被覆
- 地下水・宙水揚水処理
ホットスポットの揚水、バリア井戸
- 技術公募による修復対策
パイロットテスト